

チョウゲンボウ（ハヤブサ科） 全長35センチ

広大な採草地と畑が広がる、神宮寺雄物川の河川敷周辺。

ここで、チョウゲンボウの幼鳥3羽が元気に飛び回っていた。巣立ち後一月位だろうか、近くに親の姿は見えません。

2羽がビニールハウスのパイプに止まり休んでいる。

ここから飛び出した1羽が近くの畑に降り立った。ここに野菜は無く、トラクターをかけた後で土がむき出しの状態です。土の中に潜む虫やネズミなどを狙っているのでしょう。



ハウスのパイプに仲良く並ぶ。

他の幼鳥もやってきました。

じっと地面を見つめるとパッと足を突き出し何かを捕まえたようだ。このように親に頼ることなく、自らの力で生き延びる術を修行中のようだ。



近くの地上を見つめている。



獲物を見つけたのか、飛び立った。

3羽の兄弟はいつも一緒です。

お互いに切磋琢磨しながら、大空でトンボや小鳥を捕らえながら成長していくことでしょう。



畑を歩きながら餌探し。



大きく口を開き、黒い塊（ペレット）を吐き出した。